

除染後農地の水稲生育ムラは地力のばらつきが原因

福島県農業総合センター 生産環境部 環境・作物栄養科

事業名 農作物・畜産物における放射性物質の吸収抑制技術等の確立

小事業名 除染後農地の省力的維持管理技術の開発

研究課題名 除染後農地の地力維持手法の開発

担当者 齋藤正明

I 新技術の解説

1 要旨

除染後農地では水稲の生育ムラが問題となるケースがある。除染により地力のばらつきが生じていることが、その要因となっていることが明らかとなった。

(1) 除染後水田では水稲の生育ムラが確認された(写真1)。

(2) 水稲の生育ムラにより、精玄米重は 23.2~64.6kg/a と大きくばらついた。精玄米重と土壌中の全窒素および全炭素との間で相関がみられた(図1~図2)。

2 期待される効果

(1) 除染後水田で生育ムラが発生した時、その要因調査を実施する時の参考になる。

3 活用上の留意点

(1) 農地除染は 5cm の表土剥ぎ取り後、5cm 客土を行った水田である。

(2) 全ての除染後農地で生育ムラが発生することではなく、表土剥ぎ取り後土壌や客土の地力、客土の混合割合等の要因で生育ムラが発生する可能性がある。

II 具体的データ等

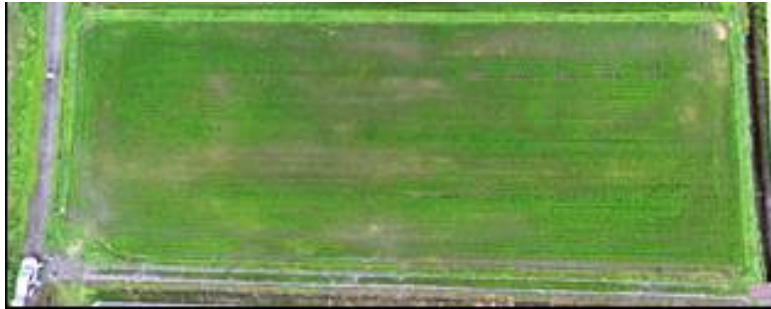


写真1 除染後水田における生育ムラの状況(平成28年7月26日撮影)

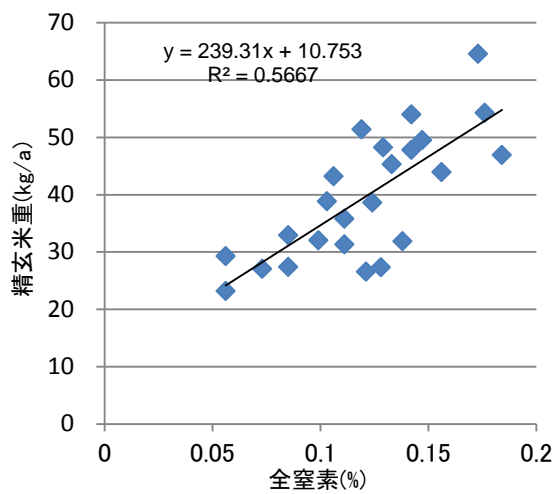


図1 土壌中の全窒素と精玄米重の関係

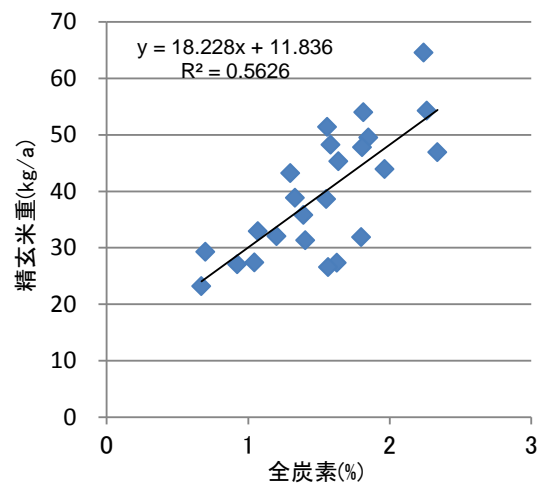


図2 土壌中の全炭素と精玄米重の関係

III その他

1 執筆者

齋藤正明

2 実施期間

平成28年度

3 主な参考文献・資料